

2018年(平成30年)7月2日

尼崎浄水場 を開放

阪神水道企業団

阪神水道企業団は6月2日、尼崎浄水場で「尼崎浄水場特別開放イベント2018」を開催。約1000人が来場した。

「特別場内セミナー」では、グローバルウォータージャパンの吉村和就代表が「水に流せない水の話」と題し、分離膜など世界で活躍する日本の技術、人体を構成する水分



吉村氏の講演

日本古来の水文化等の話題を提供した。浄水施設見学に併せて、阪神間水道事業体広

報連携企画(KAHNAT)が作成した施設カードを配布。実験教室では、PACを用いた浄水体験を実施した。

「緊急給水車コーナー」では、給水袋への給水体験を実施。

地元警察の協力により、パトカー・白バイ乗車体験も催された。今年4月に発足した尼

崎市公営企業局は、水道水と市販のミネラルウォーターの飲み比べを実施。利き水と同市水道事業クイズ正解者には「尼崎市水道通水100周年記念デザイン」のボトル水が配布された。また、同市が淀川に水源を求めると至った「尼百年の大計」、日本で初めてオゾン処理を導入した「神崎浄水場」等をパネルでPRした。尼崎市水道通水100周年記念切手も販売された。